

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-05-16

なし

(発行年 / Year)

1910

別段ノ意思表示ニ依リテ之ニ異ナリタル利率ヲ定ムルコトヲ妨ケサルヲ明ナリ

第四百四條

既成法典財産編第三百九十四條第一項ハ利息制限法同一ノ趣旨ニ本クキ債務者ノ保護ノ目的トシテ重利ヲ禁シ利息ヲ元本ニ組入ルルニハ特別ノ合意又ハ裁判所ニ請求スルコトヲ要スル旨ヲ規定ス下雖モ斯ノ如キ制限ハ種々ノ方法ニ依リテ容易ニ之ヲ免レ得ヘク殆シト其實效ナキヲ以テ本案ハ利息ヲ元本ニ組入ルルニ必要ナル手續ヲ簡易ニシ容ロ債務者ノ怠慢ヲ責ム利息カ一年以上延滞シタル場合ニ於テ債權者ヲ其催告ヲ爲スモ債務者之ヲ支拂ハサルトキハ直ニ元本ニ組入ルルコトヲ得ト爲セリ又既成法典同項ノ規定ニ依ルハ一年毎ニ必ス利息ヲ元本ニ組入ルルコトヲ要スルカ如シト雖モ之レ亦斯ノ如ク制限スルニ必要ナキヲ以テ本案ハ一年分以上ノ延滞利息トシ單ニ其最低期限ヲ示スニ止マルモノトス其他既成法典同條第二項ニ掲グル貸質ノ年金等ノ如キモノハ元本ニ對スル利息ト稱スヘキモノニアラス又同條第三項ノ規定ハ特ニ明文ヲ要セサルニ因リ共ニ之ヲ刪レリ

第三章 多數當事者ノ債權

(理由) 既成法典ニ於テハ義務ノ諸種ノ體様ト題スル一節ヲ設ケ各種ノ債務ニ關スル規定ヲ掲ケタリト雖モ本案ニ於テハ所謂有期義務及ヒ條件附義務ニ關スル規定ハ之ヲ總則ニ掲ケ又擔保義務ハ債權ノ目的ニ關スル事項トシテ本編第一章第一節中ニ之ヲ規定シ任意義務ハ代物擔保ノ豫約ニ外ナラサルモノト信スルカ故ニ本章第五節第一款中代物擔保ニ關スル規定アルヲ以テ足レリトシ特ニ之ヲ規定セス而シテ不可分債務連帶債務及ヒ保證債務ニ至テハ債權者又ハ債務者ノ多數ナル場合ニシテ多數ノ規定ヲ要スルモノナルカ故ニ茲ニ多數當事者ノ債權ト題スル一節ヲ設ケ以テ之ニ關スル規定ヲ掲ケタリ

第一款 總則

第四百二十八條

(理由) 數人ノ債權者又ハ債務者アル場合ニ於テハ權利義務ノ平等ニ數人ノ間ニ分割セラル可キモノナルヤ既成法典ニ於テハ明ニ此問題ヲ決セズト雖モ其ノ平分主義ヲ採リタルコトハ各種ノ規定ニ依リテ自ラ明ナリトス本案ニ於テハ不可分債務連帶債務及ヒ保證債務ノ總則トシテ本案ヲ設ケ以テ其主義ヲ明ニセリ而シテ此規定ヲ設グル以上ハ財産編第四百十四條ノ如キ規定ハ自ラ其必要ナキニ至ルヘキナリ

第二款 不可分債務

既成法典ニハ不可分債務ノ原因ニ關シ詳細ナル規定ヲ設ケタリト雖モ頗ニ失レ實際其必要ヲ見サルヲ以テ木案ニ於テハ之ヲ削除シ唯不可分ノ債務ノ目的ノ性質又ハ當事者ノ意思ニ因リテ生ズルモノナレトコトヲ示スニ止メタリ

財産編第四百四十一條及ヒ第四百四十二條ハ不可分債務ノ原因ニ規定セルモノニシテ前記ノ理由ニ依リ木案第四百二十九條ノ規定ヲ以テ之ニ代ヘタリ同第四百四十二條ハ言フヲ俟セサルヲ以テ之ヲ削リ又第四百四十四條ハ木案第四百二十六條及ヒ第四百三十一條アルカ爲メノ存スル必要ナキヲ以テ共ニ之ヲ削リ同第四百四十九條ハ延期抗辨ノ規定ナリ若シ延期抗辨ヲ認ムルコト既成法典ノ如ナルトキハ債權者ニ損害及ホスコト決シテ少シトセシ加之債務者ハ自ら辨濟ヲ爲スコトヲ豫メ覺悟セザル可カラサルモノナルカ故ニ債務者ヲシテ延期抗辨ヲ爲スコトヲ得セシムルトキハ其保護ノ厚キニ失スル嫌アリ故ニ之ヲ削リ

既成法典ハ不可分債務ニ關スル規定ヲ財産編ト擔保編トニ分載セリ然レトモ其擔保編中ニ規定セル任意ノ不可分ナルモノハ連帶ノ如ク之ヲ一種ノ債權擔保ト見タルカ故ニ過キス固ヨリ財産編ノ規定ヲ其適用ヲ有スルモノニ非ス故ニ木案ニ於テハ其財産編ノ規定ヲ參酌修正シテ之ヲ採用シ擔保編ノ規定ハ全ク之ヲ削除セリ

第四百二十九條

(理由) 不可分債務ニ關シテ債權者ノ多數ナル場合ニ付キ諸國ノ立法例ニ於テ三種ノ異ナリシテ主義

アリ第一ハ總債權者共同ニテ履行ヲ請求シ又債務者ハ總債權者ニ辨濟ヲ爲スヘキモノトスル主義アリ第二ハ佛伊瑞士等諸國ノ法典ニ於テ採ル所ノモノニシテ各債權者ハ全部ノ履行ヲ求メ又債務者ハ各債權者ニ全部ノ履行ヲ爲スコトヲ得ヘキモノトスル主義ナリ第三ハ獨逸民法草案ノ採ル處ニシテ一人ノ債權者ニ對シテ爲ス履行ヲ總債權者ノ利益ト爲スヘキ場合ヲ除ク外ハ各債權者ハ全部ノ履行ヲ請求レ得ヘキモ總債權者ニ履行ヲ爲スヘキコトヲ請求セサルヘカラストスル主義是ナリ第一ノ主義ハ理論ニ偏レテ實際不便ナルコト論ヲ俟タス之ニ反シテ第二ノ主義ハ不可分債務ノ性質ヨリ論ズルトキハ甚ス其高ク得ヌ何トナレハ各債權者ハ本來全部ノ履行ヲ求ムルノ權利ヲ有セシムルナリ然リ雖モ債務者カ一部ノ履行ヲ爲スモ各債權者ハ實際履行ノ利益ヲ受クルコト能ハサルカ故ニ便宜上期定シタルモノニ過キサルナリ又獨逸民法草案ノ主義ハ理論ト實際ノ必要トヲ調和シテ巧ナル如シト雖モ強制執行ニ際シテ其不便少ナカラサルヘキ故ニ木案ニ於テハ各債權者ハ總債權者ノ爲メニ履行ヲ請求シ又債務者ハ總債權者ノ爲メニ各債權者ニ履行ヲ爲スヘキモノト定ム以テ不可分債務ノ性質ニ反セサル範圍内ニ於テ第二ノ主義ヲ採用シ實際ニ不便ナカラシムルコトヲ欲セリ

第四百三十條

(理由) 本條第一項ハ財産編第四百四十五條ニ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノニ過キス其相殺ニ關スル部分ヲ削リタル所以ハ木案ニ定ムル相殺ノ要件既成法典ニ定ムル所ト異ナルカ爲メ之ヲ置クコトヲ必要トセザルニ在リ

同編第四百四十六條ノ規定ハ不可分債務ノ性質ニ反スルモノト謂フ可シ蓋シ各債權者ハ債權全部ニ付權利ヲ有スルモノニ非ス又固ヨリ共同ニ代理關係ノ存スルモノニ非サルナリ故ニ同條ヲ削除シ之ニ代アルニ本條第二項ヲ以テシタリ

第四百三十一條

(理由) 債務者數人アル場合ニ於テハ目的ノ不可分ナルヨリ履行ニ關シテハ債權者ヲシテ各債務者ニ對シ全部ノ請求ヲ爲スコトヲ得セシムルコト必要ナリト雖モ債務者相互ノ間ニハ代理其他連帶ノ場合ニ於ケル如キ關係ノ存スルモノニ非ス故ニ本條ヲ以テ其一人ニ付キ生ラズ事項ハ他債權者ニ對シテ効力ヲ生セサルコトヲ明示スルノ必要アルナリ

第四百三十二條

(理由) 既成法典ニ於テハ不可分債務ニ關シテ詳細ナル規定ヲ設ケタルニ拘ハラズ本條ノ規定アルヲ見ズ然レトモ不可分債務カ可分債務ニ變シタルトキ即チ例ハ損害賠償ヲ爲スヘキ債務ニ變シタルカ如キ場合ニ在リテハ當初不可分債務タリレ爲メ或ハ疑議ヲ生スル恐ナキニ非ラザルヲ以テ此ニ本條ノ規定ヲ設ケタリ

選擇債務

第四百四條

(理由) 本條乃至四百九條ハ所謂選擇債務ニ關スル規定アリトス蓋シ選擇債務ハ債權ノ目的ニ關スル其總體ノ一ナルヲ以テ本節ニ於テ之カ規定ヲ設ケタルコトトナセリ

本條ハ財產編第四百十八條ニ修正ヲ施シタルモノナリ同條第三項ハ言フヲ依サルヲ以テ之ヲ削除シ唯同條ノ第一項及第二項ノ規定ヲ採用シテ其體裁ヲ改メタリ

第四百五條

(理由) 本條ハ財產編第四百三十條ニ該當スルモノナリ同條ノ規定ニ依ルトキハ債權者ハ實物ノ提供ヲ爲シ又債權者ハ合式ノ請求ヲ爲シテ選擇權ヲ行ヘキモノナリト雖モ選擇權ノ行使タルニ著ト意思ノ表示ニ外テラサルカ故ニ苟モ選擇ヲ爲スノ意思明タルトキハ必シモ此等手續ヲ爲スノ必要ナカレヘレ西班牙民法及ヒ白耳義草案ノ規定ニ依ルトキハ選擇ヲ爲ス者ハ其旨ヲ相手方ニ通知スレハ足レリト雖モ此規定タルヲ少シク抑キニ失スルノ感ナキニ非サルヲ以テ獨乙民法草案ノ主義ニ倣ヒ相手方ニ對スル意思表示ニ依テ選擇ヲ爲スヘキモノト爲シタリ

本條第二項ノ規定ハ既成法典ノ原文ヲ存シタルモノニ外ナラス

第四百六條

(理由) 本條ノ如キ規定ハ既成法典及ヒ其他諸國ノ法典ニ見サル所ニレテ唯獨乙民法草案ニ之ト類ス